



「現代政策学特講 II (沖縄)」

募集要項

■授業の概要と目的（何を学ぶか）

沖縄県にある自治体の公共政策を学び、「地域の政策・発展」を考える、実習型の科目です。

この授業では、まず、事前学習を通じて、沖縄県の歴史および諸自治体の公共政策・行政等に関する基礎的な知識を身につけます。そのうえで、同県の自治体をフィールドとして、現地実習や課題解決型授業を実施します。実習場所の方々とのインタビューを通して、地域コミュニティの特質および防災・住民へのサービス等の取組みを学び、地域の政策・発展を考えます。

課題解決型フィールドワークとして実施するこの授業は、沖縄県の沖縄大学・名桜大学や千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアムに加盟する大妻女子大学、大妻女子大学短期大学部、共立女子大学、共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学の学生も受講する予定です（合計で30名程度を想定）。立地はもとより建学の理念や文化、気風の違う大学の学生が協働して取り組むことを通して多角的な視点を養うとともに、価値観や知見、交友範囲を広げる機会となることが期待されます。

※「現代政策学特講 I (千代田区)」を受講していない場合でも、「現代政策学特講 II (沖縄)」を受講することができます。

※一昨年度「現代政策学特講 II (沖縄)」を受講し、単位を修得した学生も再び受講することができます。また、所定の成績を収めれば、別途単位が付与されます。

課題解決型フィールドワークとは…

あらかじめ獲得している知見を現実の場で応用・実践すること。それを通して課題を発見し、その課題解決のための方策を練りあげること。

■応募資格

法政大学 法学部 全学科 1～3年生（※1）、他学部生（※2）

千代田区コンソーシアム参加大学の学生、沖縄大学・名桜大学の学生

（※1）国際政治学科は2～3年生のみが応募できます。

（※2）本科目は、法学部政治学科主催の他学部公開科目（4年生履修不可）です。

■実施形態

沖縄大学、名桜大学、大妻女子大学、大妻女子大学短期大学部、共立女子大学、共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学の学生と一緒にクラス授業、現地実習、グループワークを実施します。

■実施時期

事前学習：未定。詳細が決まり次第、連絡します。

現地実習：2022年3月1日（火）～6日（日） 計6日間（予定）

■実習地

名桜大学

〒905-8585 沖縄県名護市為又1220-1

■担当教員

法学部政治学科 明田川融教授、中野勝郎教授

■費用

25,000円～35,000円

※上記には、宿泊施設利用料が含まれます。

※上記以外に自己負担として、航空券（東京⇒那覇、那覇⇒東京）、食費（朝・昼・夕食）、施設見
学料、グループごとに移動する場合の交通費、保険料が必要になります。

※航空券は各自手配してください。詳細については別途連絡します。

※宿泊については、名桜大学内の施設になります（男女別相部屋）。

※実習地によっては、別途費用が発生します。

※今後、大学都合またはコロナ激化により中止となる場合および本人都合により欠席する場合、航空券などの取消料は、本人負担となります。

■単位数

法律学科 自由科目 2単位

政治学科 選択科目 2単位

国際政治学科 自由科目 2単位

※法学部全学科とも、年間の履修上限の別枠として履修することができます。ただし、「法学部履修の手引き」(26) (27) に記載のとおり、年度に修得できる専門科目（○単位まで修得可能）の条件は適用されます。

※法学部生以外の学部生も、年間の履修上限の別枠として履修することができますが、各学部が

定める要件に集約されます。不明な点は、各所属学部にご相談してください。

※成績は2022年度春学期科目として付与されます。

■応募方法

【申込期間】2021年11月12日（金）まで

【申込方法】下記、Google フォームより「参加申込書」に必要事項を記入し提出してください。

URL : <https://forms.gle/6dBMVSJRiQJ2NpQh9>

QR コード :



※申込は、大学が付与したアドレスで行ってください。

※申込後の受講辞退の場合、成績評価はE（未受験）となります。

【選考方法】「参加申込書」に基づく書類選考とします。

※選考結果は11月19日（金）頃、応募の際に登録されたメールアドレス宛に通知します。

■授業計画

本授業の計画は以下を予定しています。

【事前学習・事前準備】※原則として、オンラインでの実施を予定しています。

- ① 講義「近現代の沖縄政治史」（明田川 融 講師）
- ② 講義「やんばるの沖縄戦と米軍基地史（民間人収容地区から辺野古新基地問題まで）」（川満 彰 講師）
- ③ 講義「沖縄県の北部振興策について」（仮題 調製中）

個人ワーク :

「沖縄FWの学習テーマと学習理由」（名護市および沖縄県北部地域の現状・課題を踏まえて）

グループワーク :

「名護市および沖縄県北部地域の調査計画の策定」（テーマ、ヒアリング先、ヒアリング先移動計画）

【現地実習】

●3月1日（火） ※12時00分 那覇空港に集合予定

PM

ーオリエンテーション（自己紹介など）

- ー講義（名桜大学 林教授）
- ーフィールドワーク（名護市内施設等ヒアリング調査）
- ※18時解散、のち懇親会の予定

●3月2日（水）

AM

- ー講義「名護市の取り組みに関すること ー産業振興ー」（調整中）
- 講義「名護市の取り組みに関すること ー一定住条件の整備ー」（調整中）

PM

- ーフィールドワーク（名護市内施設等ヒアリング調査）
- ーグループワークと振り返り

※18時00分解散予定

●3月3日（木）

AM

- ー講義「北部地域（名護市を除く）の取り組みに関すること ー産業振興ー」（調整中）
- 講義「北部地域（名護市を除く）の取り組みに関すること ー一定住条件の整備ー」（調整中）

PM

- ーフィールドワーク（名護市内施設等ヒアリング調査）
- ーグループワーク、振り返り

※18時00分終了予定

●3月4日（金）

AM

- ーフィールドワーク（名護市内施設等ヒアリング調査）

PM

- ーフィールドワーク（道の駅等ヒアリング調査）
- ーグループワークと振り返り

※18時00分解散予定

●3月5日（土）

AM

- ー最終プレゼンテーション準備

PM

- ー最終プレゼンテーション準備

※18時00分解散予定

●3月6日（日）

AM

ー最終プレゼンテーション

※12時00分終了予定

■成績評価の方法と基準

調査実習における積極性や調査報告の内容により評価します。

■その他

学外施設を訪問して、研究活動を進めるプログラムのため、諸事情により、本プログラムの内容変更または中止をする場合がありますので、ご了承ください。

■問い合わせ先

法政大学現代政策学特講事務局（法政大学法学部窓口 大内山校舎1階）

E-mail: chiyoda_okinawa@ml.hosei.ac.jp

以上